

オンリーワンテクノロジー

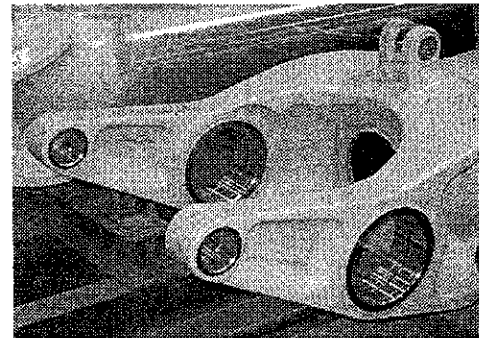
地震・津波観測網向け 銅合金出荷が好調

—三芳合金工業

三芳合金工業(埼玉県三芳町、荻野茂雄社長、049・2558・3338)は各種銅合金製品製造を手がけて60余年の歴史を持つ。その販売子会社である大和合金(東京都板橋区)では荻野源次郎氏が1月、新社長として就任した。リーマンシ

ヨック後には21億円まで落ち込んだ大和合金の売り上げも2013年3月期には36億円と、過去最高だった同40億円超をうかがうまでに回復した。

消しゴム用金型や、航空機向け足回り部材(写真)などで高シェアを持つ一方、顧客層は製造業



全般に幅広い。最近は一陸沖海底に敷設される地震・津波観測網向け銅合金(荻野源次郎大和合金社長)だ。海外へも営業攻勢をかけており、昨年のベルリンエアショー出展を契機に新たな取引が始まった。6月17日に開催したパリエアショーにも出展。その成果について「多くの有意義な出会いがあった」と(同)と手応えを感じている。

金としての注文が特に好調(荻野源次郎大和合金社長)だ。海外へも営業攻勢をかけており、昨年のベルリンエアショー出展を契機に新たな取引が始まった。6月17日に開催したパリエアショーにも出展。その成果について「多くの有意義な出会いがあった」と(同)と手応えを感じている。